

JVC

32 型 (81.3 cm) カラー液晶モニター

CL-R813

取扱説明書

Model: CL-R813BN0JA

重要

この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、ご使用前に必ず「安全上の注意」を読んで正しくお使いください。
「取扱説明書」はできる限り身近な所に大切に保管してください。
保証書は必ず販売店名などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。

* 記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

もくじ

はじめに	4
安全上の注意	9
製品セキュリティに関して	13
付属品を確認してください	14
製品の特長	15
各部の名称と働き	16
接続のしかた	18
画面の角度調整	20
操作方法	21
参考	32
市販のアームを取り付けるときは	33
盗難防止セキュリティロックスロット	34
ヒューズの交換	35
ケーブルマネジメント	36
対応信号	37
入力信号	38
仕様	39
故障かな?と思ったら	41
お手入れについて	42
製品を廃棄するときは	42
アフターサービス	43
保証書	裏表紙

はじめに

このたびは、弊社のカラー液晶モニターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書をよくお読みになり、正しくお使いいただくようお願いいたします。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品をお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、ご理解された上で正しくお使いください。
また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるように大切に保管してください。

使用目的

この製品は訓練された医療従事者により使用される製品です。

保証書について

保証書は内容をよくお読みの上、必要事項を記入して大切に保管してください。
修理をするときには、必ず保証書をご用意ください。

本製品を輸出する際のご注意

本製品は、日本国内仕様です。
本製品を日本国外に輸出する際は、事前に弊社の担当営業窓口にご相談頂き、輸出者の責任において、最終仕向地の関連法令を遵守し、必要な手続きを行ってください。
海外の法令および規制への適合について、弊社では責任を負いかねます。

責任制限

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 分解や改造をした場合、弊社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用のため弊社より供給されたソフトウェアの使用により発生したいかなる損害（期限にかかわるもの、ビジネス上の、利益の減少および遅延や情報にかかわるもの、その他、金銭上の不利益）が、たとえその発生が当方において予想されたとしても、弊社は一切責任を負いません。

電波障害自主規制 (VCCI) について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

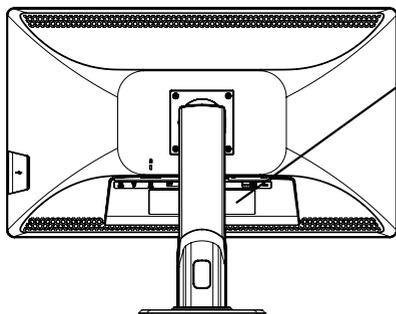
瞬時電圧変動について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不具合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

⚠ 注意・警告表示について

重要

本製品の背面には、注意、警告表示があります。
お使いになる前に、内容をよく読んで安全にお使いください。



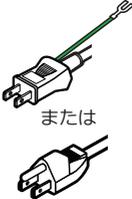
CAUTION

DO NOT OPEN THIS COVER. TRAINED SERVICE PERSONNEL ONLY.
ABDECKUNG DARF NUR VON AUTORISIERTEN SERVICE-MITARBEITERN
ENTFERNT WERDEN.
NÉ PAS OUVRIR LE COUVERCLE. RÉSERVÉ AU PERSONNEL AUTORISÉ.
サービスマン以外はキャビネットを絶対にはずさないでください。

電源コードの重要情報

注意

下記の表に従い、この表示を備えている電源コードを使用してください。
もしも、製品に電源コードが付属されていない場合は、購入元にお問い合わせください。
その他の国で使用する場合、コンセントの交流電圧と一致した、その国の安全基準によって
認証されている電源コードをご使用ください。北米では医用モニターにはホスピタルグレード
の電源コードを使用しなければなりません。

国	米国 / カナダ	欧州	日本
プラグ形状			 または 
標準	UL/CSA	VDE、Demko、 Nemko、BSI 等	PSE
電圧	120	230	100

記号表示について

各表示には次のような意味があります。

	一般注意：特定しない一般的な注意を示しています。
	感電や火災に関しては、UL および c-UL に準拠しています。
	欧州医療機器規制に適合していることを示します。
	このデバイスが医療機器指令 2002 (SI 2002 No 618, およびその修正版) (UK MDR 2002) の要件に適合していることを示しています。
	米連邦通信委員会 (FCC) の規格に適合していることを示しています。
	この装置は、VCCI 協会のクラスB情報技術装置です。
	オセアニア諸国の EMC 規格に適合しているマークです。
	欧州の WEEE 指令マークです。
	製造業者のマークです。
	欧州共同体域内の指定代理人のマークです。
	取扱説明書を参照してください。
	これが医療機器であることを示します。
	英国責任者のマークです。
	交流電源マークです。
	電源のスタンバイ (準備中) マークです。
	メイン電源スイッチ ON マークです。
	メイン電源スイッチ OFF マークです。

安全にお使いいただくための絵記号について

ここでは、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

その表示と意味は次のようになっています。

■絵表示について

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

	△で示した記号は警告、注意を促す事項があることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容が描かれています。 例)  「感電注意」を表す絵記号
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）です。 記号の中には、具体的な禁止内容が描かれています。 例)  「分解禁止」を表す絵記号
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な指示内容が描かれています。 例)  「電源プラグをコンセントから抜いてください」を表す絵記号

■本文中の記号について

 重要	使用前に必ず読んでいただきたい内容を記述しています。
 注意	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。
	操作に関する内容を記述しています。必要に応じてお読みください。
	本書内の参照ページを記述しています。

安全上の注意

警告

 分解禁止	本製品を分解・修理・改造はしないでください。 火災、感電、けが、故障の原因となります。 修理・点検は、お買い求めの販売店に依頼してください。 分解や改造をした場合、修理をお断りすることがあります。また保証期間であっても有料修理となる場合があります。
 禁止	故障した状態や異常のまま使用しないでください。 そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。
 接触禁止	画面が破損して漏れた液晶（液体）には、触れないでください。 画面を破損した場合、液晶（液体）が漏れることがあります。液晶に触れたり、口に入れたりしないでください。中毒や皮膚がかぶれる原因になります。 誤って目や口に入った場合は、すぐに流水で洗浄し、医師に相談してください。 皮膚や衣服に付着したときは、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。 液晶には刺激物質が含まれています。
 禁止	本体の上にものを置いたり、かぶせたりしないでください。 そのまま使用を続けると故障や火災の原因になります。
 禁止	ケーブルの上にものを置いたり、かぶせたりしないでください。 そのまま使用を続けると故障や火災の原因になります。
 ぬれ手禁止	濡れた手で本製品を取り扱わないでください。 感電や本製品の故障の原因になります。
 電源プラグを抜く	発煙、または変な臭いや音がしたら、すぐに本製品のメイン電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。 お買い求めの販売店にご相談ください。
 電源プラグを抜く	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐに本製品のメイン電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 本製品は精密機器です。そのまま使用を続けるとショートして火災や感電の原因となります。お買い求めの販売店にご相談ください。
 電源プラグを抜く	液体や異物が内部に入ったら、すぐに本製品のメイン電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。 お買い求めの販売店にご相談ください。
 接触禁止	落雷での事故防止のため、近くで雷が鳴り出したら電源プラグやコードには触れないでください。 感電の原因となります。

 禁止	機器の改造はできません。
 禁止	製造元の許可なしにこの機器を改造しないでください。
 禁止	この機器を改造した場合は、機器の安全な使用を継続するために、適切な検査とテストを実施する必要があります。
 禁止	感電の危険を避けるため、この装置は保護接地された電源にのみ接続する必要があります。
 禁止	AC 電源インレットは、ディスコネクト装置とみなされます。
 禁止	二重極、ニュートラルヒューズ。修理の前にメイン電源を切ってください。
 厳守	電源コードは必ず本製品付属のものを使用してください。 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 付属品以外のもので使用した場合、発煙、発火など故障の原因となります。
 厳守	本製品は AC100 ~ 240 V 専用です。指定以外の電圧で使用しないでください。 指定以外の電圧で使用した場合、発煙、発火など故障の原因となります。
 厳守	電源コードのアース接続 (接地) をしてください。 故障や漏電のときに感電の原因となります。 電源コードが 2P プラグの場合、アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
 厳守	電源プラグの接続に関しては以下に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグを抜くときはプラグ部分を持つ。 コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因になります。 ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。 ・電源プラグはほこりなどが付着していないように定期的に清掃する。 火災・感電の原因になります。 ・タコ足配線しない。 火災・感電の原因になります。 ・電源プラグの周辺にものを置かない。 異常時に電源プラグがすぐに抜けるようにしておいてください。
 厳守	本製品の移動、取り付けや取りはずしの際は、本製品に接続している機器および本製品のメイン電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の原因になります。



厳守

梱包用のポリ袋は子供の手の届かない場所に保管してください。
梱包用のポリ袋をかぶると、窒息の原因になります。



注意



厳守

本製品は、屋内に設置してください。
本製品は、屋外・船舶・車載仕様ではありません。



禁止

風通しの悪い場所、ほこり、湿気の多いところ、油煙・湯気の当たる場所には設置しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



禁止

不安定な場所に置かないでください。
落下・転倒によりけがや故障の原因になります。



禁止

直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
キャビネットや部品などに悪影響を与え、発熱・発火の原因になることがあります。



厳守

正しい取扱いをしている場合でも、電波の状況によりラジオやテレビの受信に影響をおよぼすことがあります。
このようなときには、次の点にご注意ください。
・本製品とラジオ、テレビを十分離してご使用ください。
・本製品とラジオ、テレビを別のコンセントに接続してください。



禁止

液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。
干涉縞が発生するなど表示異常を起こしたり、画面に傷が付いたりして液晶パネル故障の原因になります。



禁止

次のような場所に設置しないでください。
・強い磁界が発生する場所
・振動の発生する場所
・腐食性のガスが発生する場所
・静電気の発生する場所
故障の原因となります。



禁止

本製品は、結露したまま使わないでください。
本製品を寒い部屋から暖かい部屋に移動すると、表面や内部が結露する場合があります。必ず結露がなくなってからお使いください。そのまま使うと故障の原因になります。



禁止

モニターのおお向けでの使用、または換気できないところに組み込んでの使用はしないでください。
内部温度上昇により、キャビネットや部品などに悪影響を与え、寿命低下・故障・発熱・発火の原因になります。



厳守

長時間使用する場合は、1時間に10～15分間目を休めてください。
眼精疲労などの原因になります。



厳守

発煙発火等の異常時は、電源コードを抜いてください。
そのために電源コードが抜きやすい場所に設置してください。

液晶モニターについて

 禁止	<p>残像の原因となる場合がありますので、長時間静止画像を表示しないでください。</p> <p>残像とは、長時間同じ静止画像を表示して、表示画面を変えたときに前の画面表示が影のように残る現象です。</p>
 厳守	<p>画面の焼き付き防止のため、スクリーンセーバー機能を使用してください。</p> <p>画面は、同じ画面を長時間表示していると画面の焼き付きを起こします。スクリーンセーバー機能やモニターの電源設定をスタンバイ設定にして焼き付き防止を図ってください。</p>
 注意	<p>液晶モニターの場合、次のようなことがありますので、ご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。 温度が上がると元に戻ります。 ・本製品は、表示する条件により微少な斑点およびムラが目立つこともあります、故障ではありません。 ・液晶パネルは非常に高精度な技術を駆使し、有効画素数 99.999301 % 以上として作られています、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。
 厳守	<p>暗い部屋で使用するときは、液晶モニターの輝度を上げすぎないでください。</p> <p>100 lx 以下の暗い環境下では、液晶モニター輝度を最大、またはそれに近い輝度で長時間使用しないでください。</p> <p>目を痛めて視力が低下する原因となります。</p> <p>工場出荷設定輝度での使用をお薦めします。</p> <p>また、輝度調整を最小にしていると見えにくい場合があります。</p>
 厳守	<p>年に一度はモニター内部の掃除をしてください。</p> <p>装置内部にほこりがたまると火災の原因になります。</p> <p>内部の清掃・点検は、お買い求めの販売店に依頼してください。</p>

製品セキュリティに関して

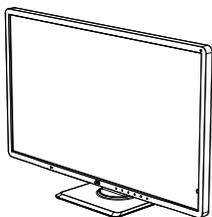
 <p>注意</p>	<p>本製品は専用のマイコンシステムにより動作しています。 そのプログラムが消去・変更されると正常な表示ができなくなるおそれがあります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>本製品をワークステーションと接続して設定変更や精度管理等の制御を行う際、通信中は USB ケーブルを抜かないでください。</p>
 <p>注意</p>	<p>IT ネットワークへの接続に関して</p> <ul style="list-style-type: none">・IT ネットワークへの接続には想定しないリスクが生じる可能性があります。・IT ネットワーク接続の変更には新たなリスクが生じる可能性があります。・変更には、構成の変更、機器の追加、機器の取り外し、機器の更新を含めます。・これらのリスクを特定し、リスクマネジメントをしてください。
 <p>厳守</p>	<p>本製品をセキュアな状態でご使用いただくために、本製品と接続して使用するワークステーションにおいて、下記のセキュリティ対策を適用して使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・アンチウィルス対策ソフトウェアのインストール・ファイアーウォールの有効化とポート制御

付属品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、以下のものがすべて入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがあつた場合は、おそれいりますが、販売店にご連絡ください。

注意 本製品に付属の電源コード以外は使用しないでください。

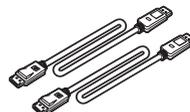
□ モニター本体



□ 電源コード (3.0 m)



□ DisplayPort ケーブル× 2 (DP-DP) (3.0 m)



□ USB ケーブル (3.0 m)



□ DVI ケーブル (DVI-DVI) (3.0 m)



□ 取扱説明書 × 1



(英語 / 日本語)

□ ユーティリティディスク *



* ユーティリティディスクについて

本製品には「ユーティリティディスク」(CD) が付属しています。このディスクには「QA Medivisor Agent LE」が収録されており、ワークステーションにインストールすることで、キャリブレーションや各種テストパターン表示等の機能拡張が行えます。インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。



梱包箱や緩衝材は、輸送などのために保管しておいてください。

製品の特長

- **32 型 (81.3 cm) 8 メガ高精細度カラー液晶パネルの採用**

32 型 (対角 81.3 cm) の 8 メガ (3840 × 2160) 高精細度カラー液晶パネルの採用により、画面サイズが大きく、鮮明な画像を得ることができます。

- **DisplayPort デイジーチェーン接続**

10 bit 入力に対応した DisplayPort を搭載しました。

10 bit 入力時には約 10 億 7374 万色の表示を実現します。

DisplayPort のデイジーチェーン (数珠繋ぎ接続) 対応により、複数モニター使用時の配線がシンプルになります。

- **輝度の均一性を改善する機能搭載**

輝度均一性を実現するユニフォミティ補正機能を搭載しました。画面全体の輝度ムラの少ない表示を実現。

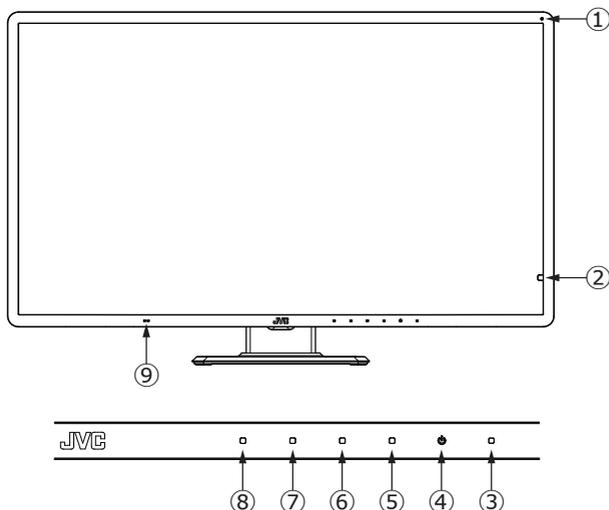
- **輝度 (明るさ) 安定性**

弊社独自の自動輝度安定化回路の搭載により、長期間にわたり安定した輝度を実現しています。

- **アーム備え付け機能**

スタンド部分は取りはずせますので、アーム利用など設置環境に応じた使い方ができます。
(100 mm ピッチの取付器具に対応)

各部の名称と働き



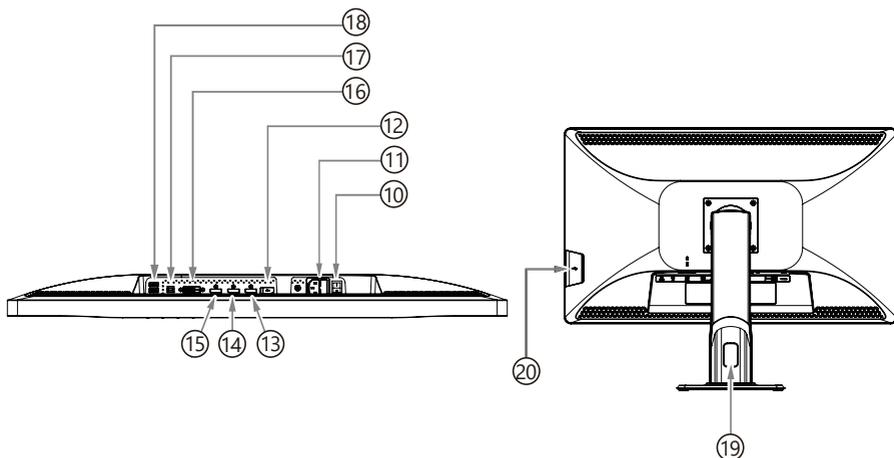
- ① **周囲光センサー**: 使用環境における周囲光を監視するセンサーです。
- ② **輝度センサー**: 本製品の輝度監視用のセンサーです。
- ③ **LED インジケータ**: LEDインジケータと本製品の状態は以下のような関係になっています。

No.	LED 状態	電源状態	カラー液晶モニターの状態
1	消灯	オフ	電源オフ
2	緑点灯	オン	ノーマル動作状態
3	橙点灯	オン	パワーセーブ状態

- ④ **スタンバイキー** : ⑩メイン電源スイッチがオンのとき、本製品の電源オン/オフが行えます。

Note 電源のオン/オフはキーをタッチし続けて行います。また、電源オン/オフは5秒以上間隔を空けて行ってください。

- ⑤ **操作キー 1**: OSDメニュー表示や機能操作を他の3つの操作キーと合わせて行います。
- ⑥ **操作キー 2**: OSDメニュー表示や機能操作を他の3つの操作キーと合わせて行います。
- ⑦ **操作キー 3**: OSDメニュー表示や機能操作を他の3つの操作キーと合わせて行います。
- ⑧ **操作キー 4**: OSDメニュー表示や機能操作を他の3つの操作キーと合わせて行います。
- ⑨ **人感センサー**: 人感センサー機能をオンにすると人の動きを検知し、離席時は自動でモニターをスタンバイ状態にします。



- ⑩ **メイン電源スイッチ _POWER:** 製品のメイン電源スイッチです。
- ⑪ **AC インレット _AC IN:** 付属の電源コードを接続します。
- ⑫ **サービスポート _Service ONLY:** サービス専用のポートです。何も接続しないでください。
- ⑬ **ディスプレイポート _DisplayPort OUT:** モニターをデジチェーン接続する場合に DisplayPort ケーブルを接続します。
- ⑭ **ディスプレイポート _DisplayPort IN1:** 付属の DisplayPort ケーブルを接続します。
- ⑮ **ディスプレイポート _DisplayPort IN2:** 付属の DisplayPort ケーブルを接続します。
- ⑯ **DVI-D _DVI-D:** 付属の DVI-D ケーブルを接続します。
- ⑰ **USB UP ストリームポート _UP:** ⑱⑳ USB DOWN ストリームポートに USB 機器を接続する場合に、付属の USB ケーブルを本製品の UP ストリームポートとワークステーションの USB ポートに接続します。
- ⑱ **USB DOWN ストリームポート _DOWN:** USB DOWN ストリームポートを 2 ポート装備しています。消費電流 1 ポート 500 mA (最大) までの USB 機器が接続できます。
- ⑲ **ケーブル通し穴**
- ⑳ **USB DOWN ストリームポート _DOWN:** USB DOWN ストリームポートをモニター側面に 1 ポート装備しています。

接続のしかた

1 接続するワークステーションの電源をオフにします。

2 DisplayPortで表示する場合：

付属の DisplayPort ケーブルで、本製品の「DisplayPort IN1」 または「DisplayPort IN2」 ポートとワークステーションの DisplayPort 出力に接続します。

DVI-Dで表示する場合：

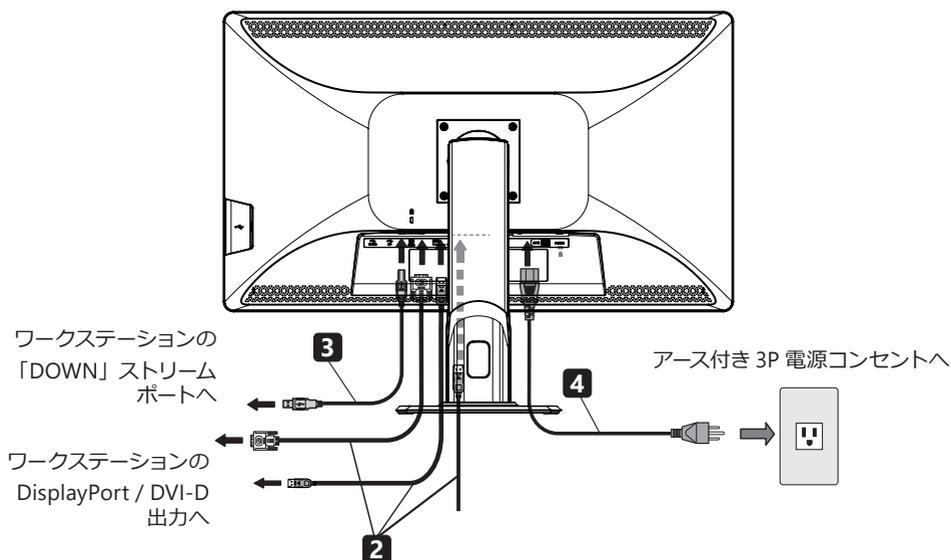
付属のDVI-D ケーブルで、本製品の「DVI-D」とワークステーションのDVI-D出力に接続します。

注意 付属のケーブルを使用してください。付属のケーブル以外を使用した場合、画面がちらつくなど表示が不安定になることがあります。

3 ワークステーションから本製品に対して操作（設定変更、精度管理）を行う場合には、付属の USB ケーブルを、本製品の「UP」 ストリームポートとワークステーション（または他の USB ハブ）の「DOWN」 ストリームポートに接続します。

4 付属の電源コードを本製品の AC インレットとコンセントに接続します。

5 本製品の電源をオンにして、ワークステーションの電源をオンにします。



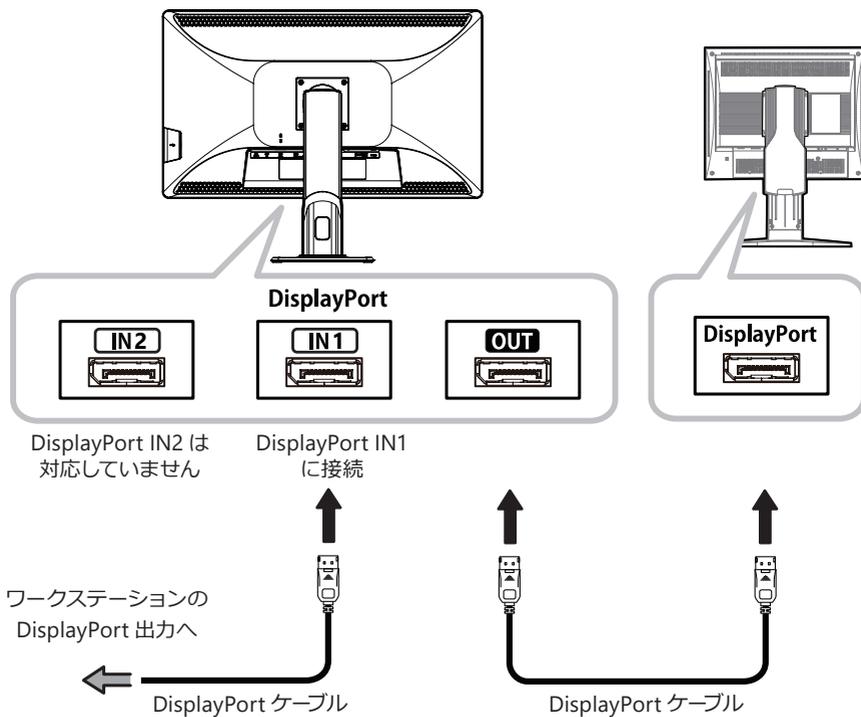
⚠ 注意

- ・ 医療用途でお使いの場合、本製品は、IEC 60601-1 認定機器および医用システムに接続されることを意図しています。本製品が IEC 60601-1 認定機器へ接続されていない場合は、IEC 60601-1 によるシステム評価が必要となります。
- ・ 付属の電源コード以外は使用しないでください。

複数のモニターをデジーチェーン接続するときは

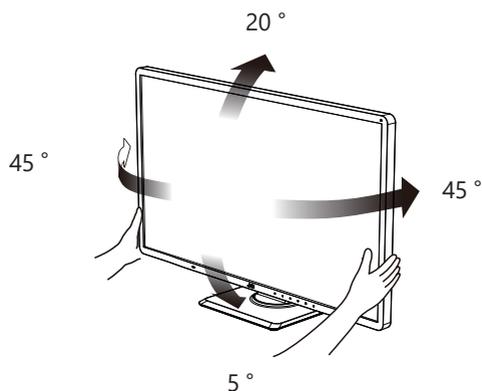
DisplayPort コネクタを下図のようにデジーチェーン接続します。

デジーチェーン接続が可能なモニターおよび推奨グラフィックスカードについては、弊社の Web サイトをご確認ください。



画面の角度調整

本製品の画面は下図の範囲で任意の角度に調整することができます。調整するときは図のように画面を両手で持ち、ゆっくり動かしてください。



注意

画面の角度調整をするときはご注意ください。
指をはさむ恐れがあります。



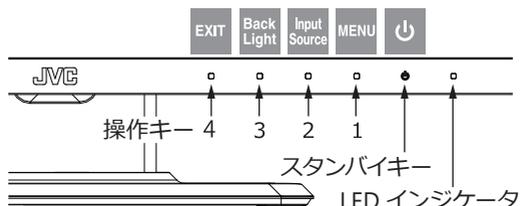
操作方法

モニターの各種情報を画面上に表示 (On Screen Display = OSD) させて調整することができます。

操作キーガイドについて

デフォルト状態では「操作キーガイド」が表示されていませんが、操作キー 1～4 またはスタンバイキー のいずれかをタッチすると「キーガイド①」が表示されます。

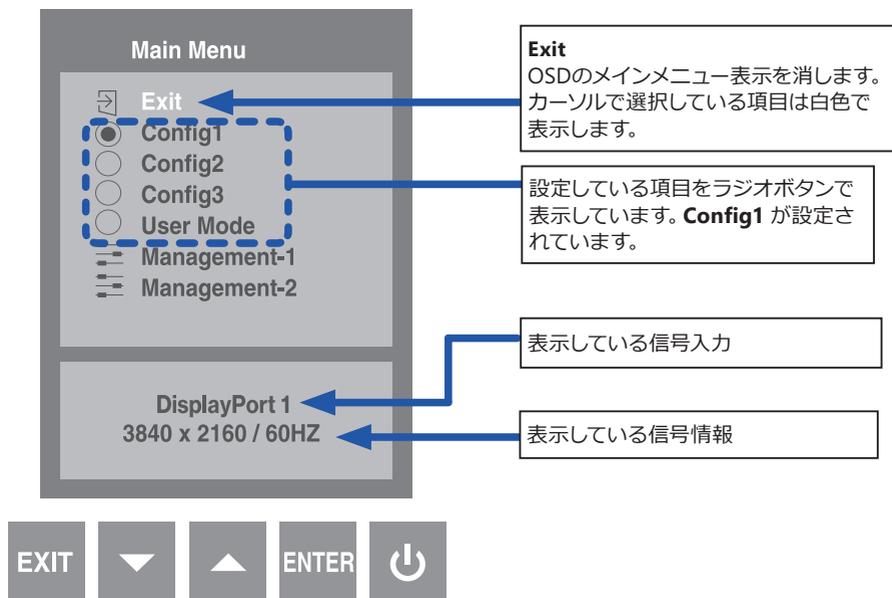
対応するキーをタッチして各種設定操作を行います。このまま無操作の場合、工場出荷状態では約 20 秒後にキーガイドの表示は消えます。PIP または PbyP にした場合、キーガイド②が表示されます。



	操作キー 4	操作キー 3	操作キー 2	操作キー 1	スタンバイキー
キーガイド①	EXIT	Back Light	Input Source	MENU	⏻
動作	キーガイドを OFF します	バックライト調整バー表示に切り替わります	入力信号選択メニューに切り替わります	メインメニュー OSD を表示します	約 1 秒間タッチするとスタンバイになります
キーガイド②		Screen M ↔ S	Sub Source		
動作	同上	メイン画面とサブ画面を切り替えます	サブ入力信号選択メニューに切り替わります	同上	同上

「MENU」キーをタッチすると OSDメニューの **Main Menu** ページが表示されます。キーガイドの表示が変化し ▲ または ▼ キーでカーソルを移動できます。(カーソルで選択した項目も文字は白色に表示します) カーソルで選択し **ENTER** キーをタッチして決定します。

メインメニューOSD



OSD調整機能リスト

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	LEVEL 4	出荷設定値	説明	
Exit						
Config1 *					Config1 に設定した画面状態にします	
Config2					Config2 に設定した画面状態にします	
Config3					Config3 に設定した画面状態にします	
User Mode	Exit					
	Backlight			50	画面の明るさを調整します	
	Contrast			90	画像のコントラストを調整します	
	Black level			50	画像の黒の明るさを調整します	
	Color	Exit				
		User	Red		100	画像の赤色を調整します
			Green		100	画像の緑色を調整します
			Blue		100	画像の青色を調整します
		5800K				色合いを選択します
		6500K				
		7500K *				
	Gamma	Exit				画像の Gamma (階調特性) を選択します
		Gamma 2.0				
		Gamma 2.2				
		Gamma 2.4				
DICOM *						
Native						

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	LEVEL 4	出荷設定値	説明		
Management -1	Exit						
	PIP/PbyP	PIP / PbyP OFF *			PIP/PbyP 表示をオフします		
		PIP On			PIP 表示をオンします		
		PbyP On			PbyP 表示をオンします		
		PIP Position	Top-Right *			PIP の sub 画面の表示位置を選択します (PIP ON 時に有効です)	
			Bottom-Right				
			Top-Left				
			Bottom-Left				
		PbyP Layout	Layout 1 *			PbyP の sub 画面のレイアウトを選択 (PbyP ON 時に有効です)	
			Layout 2				
			Layout 3				
			Layout 4				
		Sub Select	Exit	Auto Select	Exit On *		Sub 画面の自動選択を オン / オフします
				Off			
				DisplayPort 1			Sub 画面の信号ソースを 選択します
	DisplayPort 2 *						
	DVI						
	Main / Sub SW				Main 画面 と Sub 画面 を切り替えます		
	Scaling	Exit					
		Full				画像を画面全体の表示 します	
		1:1				画像の解像度を保持して 表示します	
		Fit *				画像のアスペクト比を保持 して画面全体に表示します	
	Language	Exit				OSD に表示する言語を 選択します	
		English *					
		Français					
		Deutsch					
		Italiano					
		Español					
		日本語					
	Input Source	Exit					
		Auto Select	Exit	Exit On *		メイン画面の自動選択を オン / オフします	
			Off				
			DisplayPort 1 *				メイン画面の信号ソース を選択します
DisplayPort 2							
DVI							
OSD Timer	Exit						
	10/20 */30/ 45/60 sec				OSD を表示している 時間を選択します		

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	LEVEL 4	出荷設定値	説明	
Management -2	Exit					
	Power Key Lock	Exit				
		Locked				スタンバイキーの操作をロックします
		Unlocked *				スタンバイキーの操作ロックを解除します
	OSD Key Lock	Exit				
		Locked				操作タッチキーの操作をロックします
		Unlocked *				操作タッチキーの操作ロックを解除します
	Power Indicator	Exit				
		On *				電源インジケータ (LED) の点灯を選択します
		Off				
	Human Sensor	Exit				
		Off * /1/5/10/15/30/45/60 min				人感センサーによるパワーセーブの設定を行います
		Sensitivity		2/4 */6/8/10/12/14/16		人感センサーの感度を設定します
	DisplayPort Setting	Exit				
		DisplayPort 1.1				DisplayPort のバージョンを選択します
		DisplayPort 1.2 *				
		DP Power	Exit			
	On *					
	Off					
	Information	Model		CL-R813		モデル名です
		S/N		Lxxxxxxxx		製品シリアル番号です
		Source		xxx		表示している信号の情報です
		Fh / Fv		xxx.xkHz / xx.xHz		
		FW ver.		xxxxxxRxVxx		製品のファームウェアバージョンです
		Ambient sensor		xxx lx		周囲の明るさを表示します
		Front sensor		xxxx cd/m ²		画面の明るさを表示します ("User Mode" 選択時は "---" を表示します)
		ACT TIME		xxxxx h		製品のトータル稼働時間です
Factory Preset	Exit				工場出荷時の設定に戻します	
	Yes					

*印の項目は工場出荷時の設定項目です。

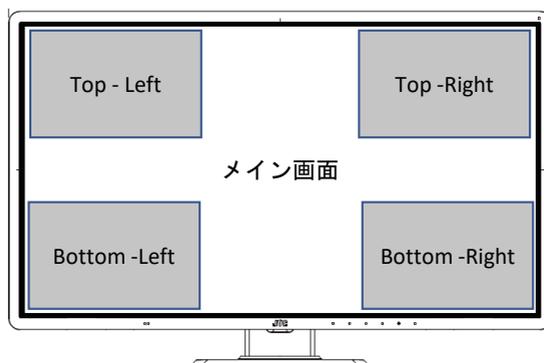
PIP/PbyP 設定

PIP: メイン画面内にサブ画面を表示します。(サブ画面は縮小して表示します)

OSDメニューの PIP/PbyP で PIP On を選択して PIP 表示に切り替えます。「PIP On」を選択すると OSD メニューの「PIP Position」が設定できます。

「PIP Position」でサブ画面の表示位置を設定します。

Top-Right、Bottom-Right、Top-Left、Bottom-Left のサブ画面の表示位置は下図の通り。



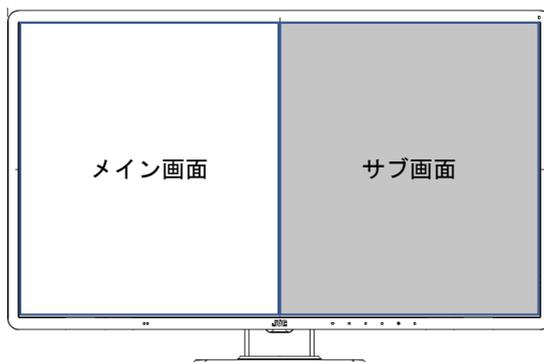
PbyP: メイン画面とサブ画面を並べて表示します。

OSDメニューの PIP/PbyP で PbyP On を選択して PbyP 表示に切り替えます。

※ PbyP On 時の最大解像度は 1920 × 2160 です。

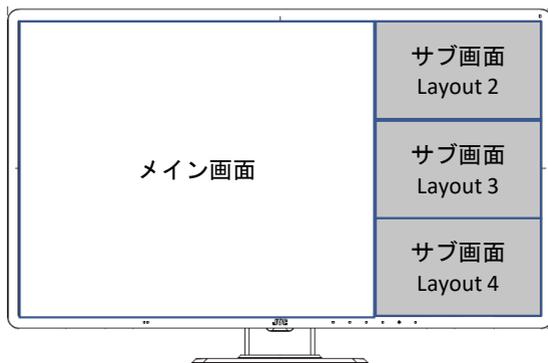
「PbyP On」を選択すると OSDメニューの「PbyP Layout」が設定できます。「PbyP Layout」でメイン画面とサブ画面の表示レイアウトを設定します。

Layout 1、Layout 2、Layout 3、Layout 4 の表示レイアウトは下図の通り。



Layout 1: メイン画面を左に、サブ画面を右に同じサイズで表示します。

※ ワークステーションの推奨解像度は 1920 × 2160 に設定されます。



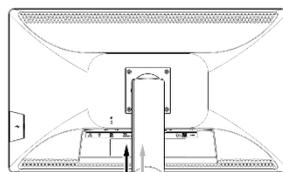
Layout 2、Layout 3、Layout 4 の場合はメイン画面の右側に小さいサブ画面を上段、中段、下段の選択した位置に表示します。

< 1 台のワークステーションから 2 画面表示する場合の設定方法 >

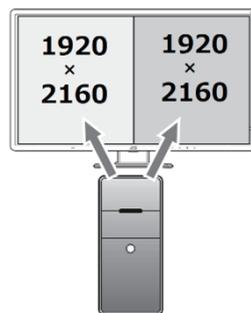
・ モニター 1 台に対して 2 つの信号を表示する場合 (2 画面表示) は、弊社の推奨するグラフィックスカードをご利用ください。

画面表示には次の手順をご参考ください。

- 1** 接続するワークステーションの電源を OFF にします。
- 2** 付属の DisplayPort ケーブルにて「DisplayPort IN1」と「DisplayPort IN2」を接続。
ワークステーション側もそれぞれ、DisplayPort 出力に接続します。
- 3** 本製品のメイン電源をオンして、ワークステーションの電源をオンします。
- 4** ワークステーション本体の設定として「ディスプレイ設定」より、2画面ともに「1920 × 2160」へ設定変更します。
- 5** 「操作キー」を押し、メインメニューより、「Management-1」を選択します。
「PIP/PbyP」より、「PbyP On」を選択します。
※「PbyP Layout」はデフォルトの「Layout1」のままとしてください。



ワークステーションの
DisplayPort 出力へ



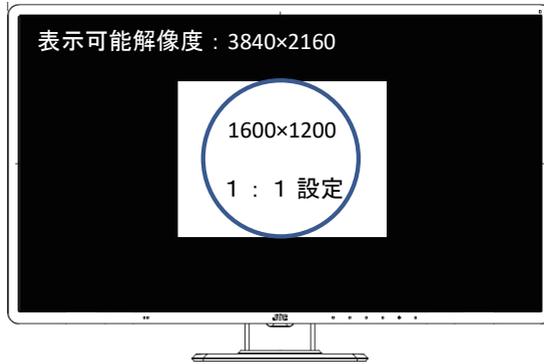
Scaling 設定

このモニターの表示最大解像度は 3840×2160 です。

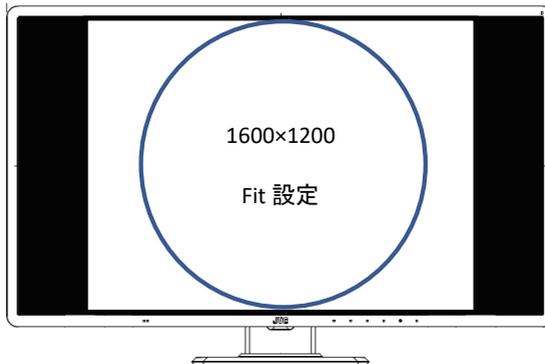
これ以外の解像度の映像信号を表示する場合、映像を拡大または縮小して表示する事が出来ます。表示方法は Scaling の Full, 1:1, Fit で選択できます。

例：解像度 1600×1200 の信号を表示する場合。

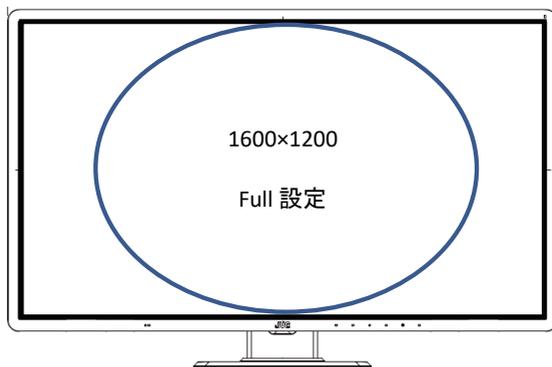
1:1: 表示可能解像度 3840×2160 の表示域に映像を拡大せずに 1600×1200 の映像が表示します。この場合、映像の周りは黒で表示します。



Fit: 映像解像度 1600×1200 のアスペクト比を保持して 3840×2160 の表示域に拡大表示します。 1600×1200 の場合映像の左右は黒で表示します。



Full : 映像のアスペクト比を維持せず、表示域全体に拡大して表示します。黒く表示する部分はなくなります。左右に伸びた映像表示です。



Human Sensor 設定

Human Sensor は常にモニターの前に人がいるかを検出しています。センサーが設定時間感知しなかった場合、人がいない (モニター使用していない) と判断してパワーセーブ (low) にします。センサーが感知すると、人がいる (モニターを使用している) と判断して通常表示します。

Sensitivity 設定

Sensitivity の OSD は上下に2つの数値があります。上側が Human Sensor の値で、下側が Sensitivity の設定値です。Human Sensor の値より設定値が小さい場合、「人がいない」と判断します。「人がいない」状態が連続して、Human Sensor の時間設定より長く続いた場合、パワーセーブします。

設定例

モニターの前に10分間人がいない場合にパワーセーブするように設定したい場合。

- ① 人がモニターの前にいる状態といない状態それぞれの Human Sensor の値をメモしてください。

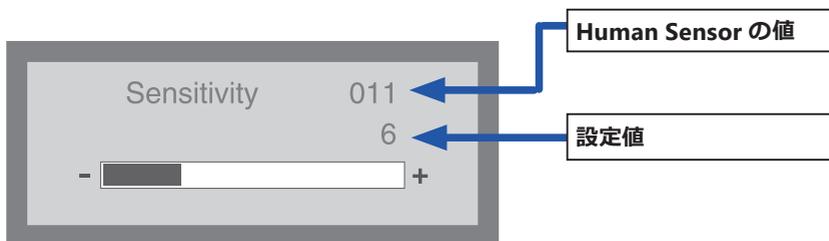
人がいる場合: 011

人がいない場合: 004

- ② ①の場合、Sensitivityは「011」と「004」の間となる6~8ぐらいが適当です。

- ③ Human Sensor の時間設定を「10」にする。

この設定状態の場合、人がモニターの前にいる限り、パワーセーブしませんが、人がモニターの前から10分離れていると、パワーセーブします。



DP Power 設定 (DisplayPortの電源設定)

ワークステーションによるパワーマネージメントでパワーセーブの状態を設定します。

On: 通常のパワーセーブ

パワーマネージメントからワークステーションが ON した場合、モニターも同期して ON します。

*Human Sensor が On の時はパワーセーブモード: low になります。(▶▶▶ P31 参照)

Off: パワーセーブモード: high

「DisplayPort IN 1」で接続している場合、ワークステーションがスリープモードから復帰してもモニターはオンになりません。

モニターのスタンバイキーまたはメインスイッチを一旦 OFF にしてから ON にしてください。

自動で復帰させたい場合は、「DisplayPort IN 2」をご使用ください。

パワーセーブと「Human Sensor」、「DP Power」設定

OSD メニュー Management-2 の Human Sensor、DP Power 設定とワークステーションの「電源とスリープ」の組み合わせにより、パワーセーブのモードが変わります。

ご使用の環境に合わせて、設定してください。

パワーセーブモード	LED	電源とスリープ 設定	Human Sensor	DP Power
	インジケータ			
通常動作	緑	OFF	OFF	ON
low	橙	OFF	ON	ON
mid	橙	ON	—	ON
high	橙	ON	—	OFF

low: Human Sensor によるパワーセーブです。設定した時間を超えてモニター (Human Sensor) の前に人がいなくなると、パワーセーブモードになります。モニター (Human Sensor) の前に人が戻ると、パワーセーブモードから自動復帰します。

mid: ワークステーションの「電源とスリープ」設定によるパワーセーブです。ワークステーションの映像信号がなくなるとパワーセーブになり、映像信号が入力するとパワーセーブモードから自動復帰します。

high: DP Power とワークステーションの「電源とスリープ」設定の組み合わせによるパワーセーブです。DP Power Off に設定した状態でワークステーションの映像信号がなくなった場合に消費電力を最小に抑えます。復帰はワークステーションの映像信号が入力状態で、スタンバイキーを On してください。

コンフィグレーション設定

CL-R813は工場出荷状態で下記3種類のコンフィグレーションを設定しています。

コンフィグレーション	輝度 (cd/m ²)		色温度	ガンマ
	最大	最小		
Config1	280	0.5	7500 K	DICOM GSDF
Config2	280	1	7500 K	DICOM GSDF
Config3	280	0.5	7500 K	EXP. 2.2

パワーセーブ時の Input Source 設定

ワークステーションの接続コネクタとモニターの Input Source の選択が合っていない状態でパワーセーブになってしまった場合に、下記の手順で Input Source を設定してください。

例) ワークステーションと「DisplayPort IN2」で接続していて、Input Source 設定が「Display Port 1」だった場合です。

- ・いずれかの操作キーにタッチしてください。
- ・そのまましばらくお待ちいただくと LEDインジケータが橙から緑に変化し、約15秒後に画面に「No Signal」が表示します。
- ・「No Signal」が表示されている間にいずれかの操作キーをタッチしてください。画面に操作キーガイドの Input Source が表示しますので、設定を行なってください。

参考

パワーセーブ機能

パワーセーブ機能とは？

節電のため、入力信号の変化を検出して画面を消し、消費電力を低減させる機能です。

設定について

パワーセーブの設定およびモード移行の時間設定については、ご使用のワークステーションの取扱説明書等をご覧ください。

デジタル入力でのご利用

本製品の入力信号は、デジタル入力となっています。本信号の場合、接続されているシステムの起動および終了の過程、解像度切り替え時にノイズ等が表示されることがあります。これは、システムのグラフィックスカードが解像度切り替えで発生するノイズです。本製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

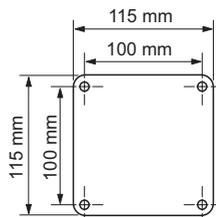
また、使用中に信号ケーブルを抜き差しされますと、システムのグラフィックスカード故障の原因となります。ケーブルの抜き差しは必ずシステムの電源を OFF にしてから行ってください。

市販のアームを取り付けるときは

本製品はスタンドを取りはずすことにより、市販のアームを取り付けることが可能になります。本製品に取り付けるアームは次の点に注意してアームメーカーにご確認の上、お選びください。

- 100 mm ピッチ取り付けに適合しているもの (右図参照)
- 耐荷重がモニター本体 (スタンドを取り外した状態) と接続されたケーブル類の総質量に耐えられるもの

注意 取り外したスタンドを再度取り付ける場合は、製品購入時に取り付けられていたネジをお使いください。



警告

取り付け部分の板金厚により必ず指定寸法のネジを使ってください。

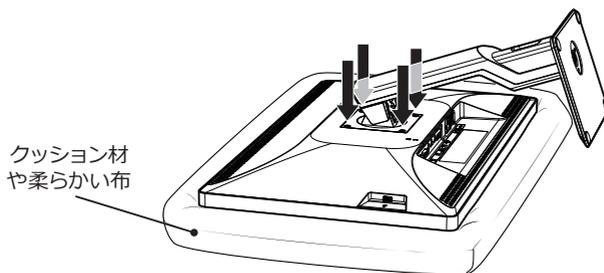
ネジの寸法が長すぎる場合は、モニター内部品を破損し、ネジの寸法が短すぎる場合は、接続が緩み、落下するおそれがあります。

取り付け部分の板金厚	指定ネジ寸法
3.5-4.5 mm	ISO M4 × 12
1.5-3.5 mm	ISO M4 × 10 (添付品)
1.5 mm 以下	ISO M4 × 8

なお、スタンドの取り外しやアーム取り付けはお客様の責任において行うものとし、万一事故が発生した場合、弊社はその責任を負いかねます。

アームの取り付け方

- 1 画面に傷がつかないように、安定した平らな面にクッション材や柔らかい布を敷きます。
- 2 その上に画面を伏せてモニターを置きます。
- 3 スタンドを取り外します。(プラスドライバーで下図矢印4カ所のネジを外します。)



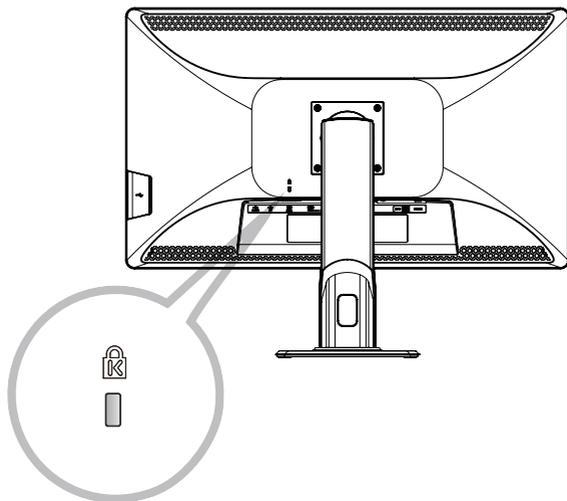
- 4 モニター本体をアームに取り付けます。(取り外しと逆の手順で行います。)

注意 既に固定されたアーム等にモニターを取り付ける場合は、必ず2名以上で安全を確保して取り付け作業を行ってください。モニターが落下したり転倒したりすると、けがや故障の原因となりますのでご注意ください。

盗難防止セキュリティロックスロット

本製品には、ACCO Brands 社の Kensington MicroSaver* セキュリティロックシステムに対応したセキュリティロックスロットを搭載しています。

MicroSaver ロックは、別途コンピュータ用品販売店などでお求めください。



* Kensington、MicroSaver は米国 ACCO Brands 社の登録商標です。

ヒューズの交換

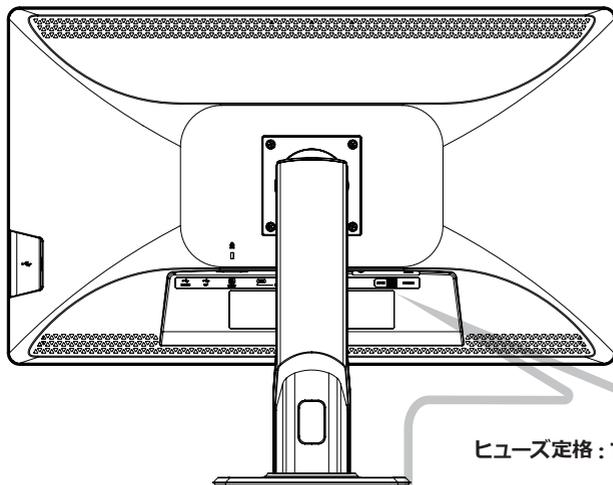
ヒューズ付きAC インレットの注意

AC インレットにはヒューズが内蔵されています。

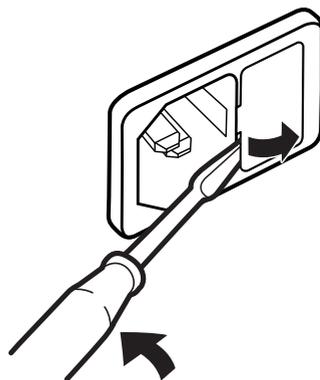
ヒューズを交換するときは、正当な定格のタイプのみを使用してヒューズカバーを取り付け直してください。

ヒューズの交換方法

マイナスドライバーでヒューズカバーを開き、ヒューズを交換します。

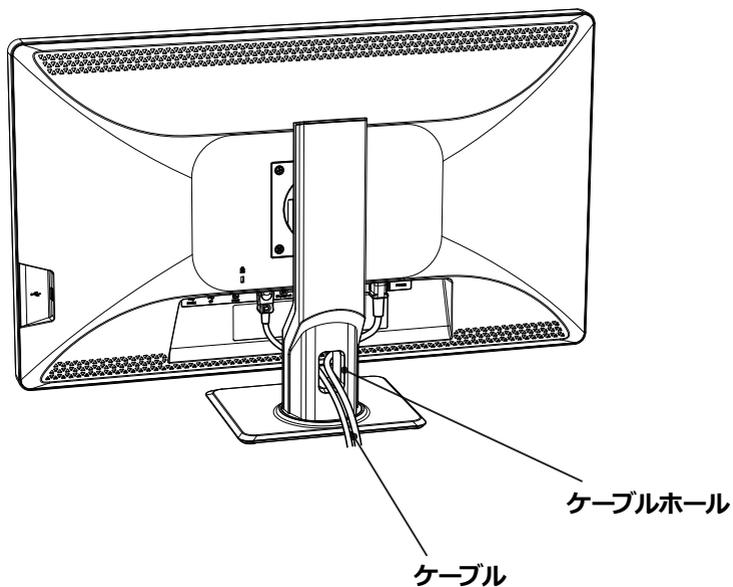


ヒューズ定格 : T2.5AL 250 V



ケーブルマネジメント

ケーブルの接続時には、スタンドのケーブルホールを使用してまとめて配線してください。



対応信号

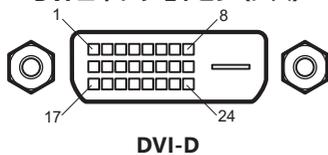
対応信号タイミング

下表タイミング以外の場合、正常に映らない事があります。

解像度	垂直周波数 [Hz]	DisplayPort	DVI-D
720 × 400	70	✓	✓
640 × 480	60	✓	✓
800 × 600	60	✓	✓
1024 × 768	60	✓	✓
1280 × 1024	60	✓	✓
1600 × 1200	60	✓	✓
1920 × 1080	60	✓	✓
1920 × 1200	60	✓	✓
1920 × 2160	60	✓	—
2048 × 1536	60	✓	✓
3840 × 2160	60	✓	(30 Hz)

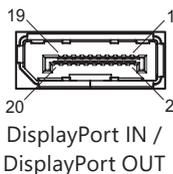
入力信号

DVI コネクタ 24 ピン (メス)



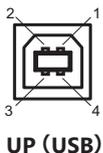
No.	信号	No.	信号
1	TMDS Data2-	13	TMDS Data 3+
2	TMDS Data2+	14	+5V Power
3	TMDS Data 2/4 Shield	15	GND
4	TMDS Data 4-	16	Hot Plug Detect
5	TMDS Data 4+	17	TMDS Data0-
6	DDC Clock	18	TMDS Data0+
7	DDC Data	19	TMDS Data 0/5 Shield
8		20	TMDS Data 5-
9	TMDS Data1-	21	TMDS Data 5+
10	TMDS Data1+	22	TMDS Clock Shield
11	TMDS Data 1/3 Shield	23	TMDS Clock +
12	TMDS Data 3-	24	TMDS Clock -

DisplayPort コネクタ (リセプタクル)



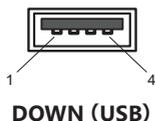
No.	信号	No.	信号
1	ML_Lane 3(n)	2	GND
3	ML_Lane 3(p)	4	ML_Lane 2(n)
5	GND	6	ML_Lane 2(p)
7	ML_Lane 1(n)	8	GND
9	ML_Lane 1(p)	10	ML_Lane 0(n)
11	GND	12	ML_Lane 0(p)
13	CONFIG1	14	CONFIG2
15	AUX CH(p)	16	GND
17	AUX CH(n)	18	Hot Plug Detect
19	Return	20	DP_PWR

USB コネクタ タイプ B (リセプタクル)



No.	信号
1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

USB コネクタ タイプ A (リセプタクル)



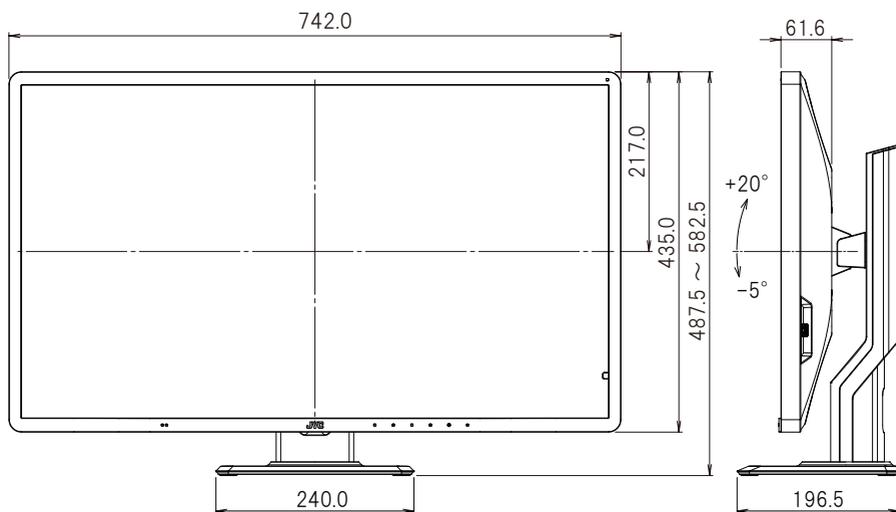
No.	信号
1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

仕様

項目	CL-R813BN0JA												
液晶パネル	81.3 cm (32 型) カラー TFT、アンチグレア、IPS												
画素ピッチ	水平 0.1845 mm × 垂直 0.1845 mm												
表示面積	水平 708.48 mm × 垂直 398.52 mm												
画素数	3840 × 2160 ピクセル												
色表示	8bit 時：1677 万色 10bit 時：10 億 7374 万色												
バックライト	LED バックライト												
液晶光学特性 (typical)	視野角：水平、垂直 178 ° (コントラスト比 \geq 10 : 1) コントラスト比：1000 : 1 (視野角上下左右 0 °) 最大輝度：500 cd/m ²												
表示可能解像度	VGA, SVGA, XGA, SXGA, FHD, WUXGA 1920 × 2160 (at Fv=60 Hz) (表示性能は不問)、 3840 × 2160 (at Fv=30/60 Hz)												
入力端子	DisplayPort IN コネクタ× 2、DVI-D コネクタ× 1												
出力端子	DisplayPort OUT コネクタ× 1												
USB ハブ機能	USB 規格 Rev.2.0 準拠、セルフパワーハブ、 USB UP ストリームポート× 1、USB DOWN ストリームポート× 3												
環境条件	<table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>動作</th> <th>輸送および保存</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度：</td> <td>5-40 °C *¹</td> <td>- 20-60 °C</td> </tr> <tr> <td>湿度 (非結露)：</td> <td>30-80 %</td> <td>10-85 % *²</td> </tr> <tr> <td>気圧：</td> <td>566-1060 hPa</td> <td>266-1060 hPa</td> </tr> </tbody> </table> <p>*¹：性能保証温度は 20-35 °C です。 *²：湿球温度は Max 38 °C (Ta>40 °C)</p>		動作	輸送および保存	温度：	5-40 °C * ¹	- 20-60 °C	湿度 (非結露)：	30-80 %	10-85 % * ²	気圧：	566-1060 hPa	266-1060 hPa
	動作	輸送および保存											
温度：	5-40 °C * ¹	- 20-60 °C											
湿度 (非結露)：	30-80 %	10-85 % * ²											
気圧：	566-1060 hPa	266-1060 hPa											
電源	100-240 V ~ 2.2-1.1 A 50/60 Hz												
外形寸法 (W × H × D)	本体：742.0 × 487.5-582.5 × 196.5 mm 梱包時：862.0 × 317.0 × 618.0 mm mm												
質量	本体：約 10.0 kg (スタンドを除く：約 7.0 kg) 梱包時：約 14.8 kg												
キャリブレーションキット (オプション)	キャリブレーションセンサー、キャリブレーションソフトウェア												
適用規格・規制	ANSI/AAMI ES60601-1 (2005)+A1 (2012), CAN/CSA-C22.2 No.60601-1 (2014), FCC -B, ICES-003-B, DA510(k), CE, UKCA, RCM, VCCI-B 適合 , RoHS, J-Moss												

●仕様および外観の一部を改良のため、予告無く変更する場合がありますのでご了承ください。

外形図



単位 : mm

故障かな?と思ったら

「故障かな?」という場合、修理を依頼される前に次の事項を確認してください。

症状	考えられる原因と対処方法
電源が入らない! (LED インジケータが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードの接続を確認してください。(■■■■▶ P18) メイン電源スイッチが入っているか確認してください。
画面が表示されない!	<ul style="list-style-type: none"> 信号ケーブルの接続を確認してください。(■■■■▶ P18) ワークステーションの電源が入っているか確認してください。 LED インジケータが橙色になっている場合、ワークステーションがパワーセーブ状態になっている可能性があります。キーボードのいずれかのキーを押してみてください。 「DP Power」設定が「Off」になっている可能性があります。スタンバイキーでモニターを ON するか、メイン電源スイッチを入れなおしてください。 入力信号の周波数もしくは表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能性があります。ワークステーションの取扱説明書に従って、周波数または表示解像度を調整してください。
「No Signal」という OSD が表示される!	<ul style="list-style-type: none"> 信号ケーブルの接続を確認してください。(■■■■▶ P18) ワークステーションの電源が入っているか確認してください。 入力信号の表示解像度が本製品の仕様に適合していない可能性があります。ワークステーションの取扱説明書に従って、表示解像度を調整してください。
LED インジケータが緑点滅を繰り返す!	メイン電源スイッチを OFF してから、もう一度 ON にしてください。症状が改善されない場合は、弊社サポートデスクへお問い合わせください。
ワークステーションの画像が正しく表示されない!	グラフィックスカード、グラフィックスカードのドライバ、OS 等の組み合わせによりうまく表示されない場合があります。推奨のグラフィックスカードについてはお買い求めの販売店にご相談ください。
ディジーチェーン接続にて画面が表示されない	お使いの環境によってはディジーチェーン接続にてパワーセーブからの復帰時に画面がでない場合があります。その場合はスタンバイキーでモニター電源を入れ直してください。

お手入れについて

キャビネットおよび画面のお手入れのしかた

- お手入れの際は、安全のために電源コードを本製品とコンセントから抜いてから行ってください。
- キャビネットのほこりは柔らかい布で拭き取ってください。中性洗剤、エタノール、イソプロピルアルコールで軽く湿らせて、油汚れを拭き取ります。使い捨ての布を使用する場合は、その注意書きの指示に従ってください。
- キャビネットはプラスチック製です。シンナー、ベンジンは塗布しないでください。プラスチックが損傷したり、コーティングがはがれたりする可能性があります。
- キャビネットに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質や塗料がはげるなどの原因になります。
- 画面の汚れは、クリーニングクロスに水または水で薄めた中性洗剤を少量しみ込ませてやさしく拭き取り、さらにクリーニングクロス乾いた部分でもう一度拭いて仕上げてください。市販のクリーナーや弱アルカリ性洗剤を使用すると、画面にダメージを与えることがあります。
- 画面は慎重に取り扱ってください。
画面には特殊処理加工が施されています。傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。また、画面を強く押さないでください。画面の輝度ムラの原因となり、場合によっては故障となります。

製品を廃棄するときは

一般の廃棄物と一緒にしないでください。

製品および梱包材廃棄の際は、関連する法令または地方自治体の条例等に従って適切な処理をしてください。

リサイクルについて

弊社はモニターの「回収・リサイクルシステム」を構築しております。弊社製品をお客様が廃棄される際は、本システムをご利用ください。

廃棄のお申し込み / お問い合わせ先は、弊社ホームページをご参照ください。

https://www.jvc.com/jp/pro/healthcare_sys/

アフターサービス

保証について

保証期間はお買い上げの日から5年間です。

ただし液晶パネルの経年劣化、焼き付き等は保証対象外です。

また、保証期間内であっても有料修理となる場合がございます。

保証内容の詳細は、保証書に記載の弊社保証規定によるものといたします。

補修用性能部品について

弊社は、この製品の補修用性能部品を製造終了後、最低5年間保有しています。

補修用性能部品とは、その製品機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- ① 異常があるときは、使用をやめて電源コードをコンセントから抜き、JVCケンウッド長岡フィールドサービスセンターにお問い合わせください。ご自分での修理はしないでください。大変危険です。
- ② 保証期間中の修理は故障内容や使用状況により無料修理いたします。
- ③ 保証期間後の修理はJVCケンウッド長岡フィールドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- ④ 修理依頼での輸送は、製品の梱包箱や緩衝材をご使用ください。輸送時は、**画面に梱包材が当たらない状態で送ってください。**
当たったまま輸送すると、液晶パネルの故障となることがあり、その場合は保証いたしかねます。

修理を依頼される場合にお知らせしていただきたい内容

- お名前
- ご住所
- ご連絡先（電話番号、FAX番号またはE-mailアドレス）
- 製品のモデル名
- 製造番号（本製品背面のラベルに記載）
- 購入年月日
- 故障の症状または異常内容（できるだけ詳しく）

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、弊社にて下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、弊社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

お問い合わせは

アフターサービスのお問い合わせは、下記サービスセンターにご相談ください。

【修理に対するお問い合わせ】	〒 940-0006 新潟県長岡市東高見 1-2-1 株式会社 JVC ケンウッド 長岡 フィールドサービスセンター ☎ 0120-24-2061 FAX 0258-24-6700 受付時間 月曜日～金曜日 9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00 (土、日、祝祭日および弊社休日は除く)
【サポートに対するお問い合わせ】	〒 940-0006 新潟県長岡市東高見 1-2-1 株式会社 JVC ケンウッド 長岡 サポートデスク ☎ 0120-24-2061 FAX 0258-24-6700 受付時間 月曜日～金曜日 9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00 (土、日、祝祭日および弊社休日は除く)
【製品に関する営業窓口】 【年間保守契約に対するご相談】	〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12 株式会社 JVC ケンウッド ヘルスケア事業部 国内営業部 TEL 045-450-1890 FAX 045-450-1926 受付時間 月曜日～金曜日 9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00 (土、日、祝祭日および弊社休日は除く)

Memo

Memo

CL-R813 取扱説明書
2023 年 10 月版

取扱説明書に関するご注意

- ・本書の内容の一部又は全部を無断転記することは禁止されています。
- ・本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら販売店にご連絡ください。

保証書

モデル名 CL-R813BNOJA
製品番号 (Serial No.) <small>製品番号は、本体背面のラベル上に記載されている 10 桁の Serial No. です。 例) L123X45678</small>
保証期間 5 年
お買い上げ日 年 月 日
お客様名 住所 〒
TEL ()

販売店・住所・TEL

*販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、ご住所、電話番号をご記入の上保証書をお客様へお渡しください。

保証規定

取扱説明書、本体添付ラベル等の注意事項に基づき、お客様の正常なご使用状態のもとで保証期間に万一故障した場合、無料にて故障箇所の修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店に本保証書を添えてお申し出ください。

- 保証期間内でも以下の場合には有料修理となります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書に必要な事項(販売店および印・お買い上げ日)の記入のない場合および内容が書き換えられた場合。
 - 液晶パネルおよびバックライトの経時による劣化の場合。(液晶パネルおよびバックライトは消耗品です。)
 - ご使用上の誤り、不当な修理や改造、誤接続による故障・損傷の場合。
 - お客様による輸送・移動時の落下・衝撃等の取り扱い上生じた故障・損傷の場合。
 - 火災・地震・風水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の電源使用等による故障・損傷の場合。
 - 車両・船舶などのような強い振動、衝撃が加わる場所に搭載されて生じた故障・損傷の場合。
- 保証書にかかる弊社の責任は、故障した本製品の修理を行うことに限られるものとします。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 本保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本保証書によってお客様の権利を制限するものではありませんので保証期間後の修理等、ご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 保証を受けるための連絡先は本書のアフターサービスのページを参照ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

